



令和5年度 愛媛県学力診断調査

12月4日（月）から「愛媛県学力診断調査」を実施しました。この調査は、小学5年生と中学2年生を対象に、「児童生徒の学習指導要領における各教科の目標や内容の実現状況を把握し、指導の成果と課題を明らかにすることにより、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるとともに、教育施策の成果と課題を検証し、その改善に資すること」を目的としています。今年度は、昨年度より1教科の実施時間を延長し、小学校は35分間、中学校は40分間で実施しました。授業作りを意識した問題となっており、授業改善への提案をしています。

愛媛県学力診断調査の結果・分析

1 「愛媛県学力診断調査」に込めた授業改善の視点

今回出題した問題は、学習指導要領の目標・内容等に基づくもので、小学校の調査問題については小学校第5学年までに、中学校の調査問題については中学校第2学年までに、十分身に付け活用できるようにしておくべきと考えられるものを、各領域等からバランスよく出題しています。

出題した問題の中で、特徴的な問題の観点を2つ紹介します。

- (1) 児童生徒が自ら問題を見だし、自ら考え、対話しながら問題を解決したり、学習活動を自ら振り返り意味づけたりするなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学習過程の改善のメッセージとなるような観点

小学校理科 大問1（一部）

出題の趣旨：他者の考えや意見を受け、解決の方法の妥当性を検討することができるかどうかをみる。

1 9月のある日、はるとさんたちは「天気の変化」の授業を行っています。

 明日の5時間目に「えひめ子どもスポーツITスタジアム」のチームリレーを運動場でする予定です。晴れるかな。

 天気はどのように変化していくのか予想してみましょう。

【予想】

 西から変わっていくと思うよ。だって、朝登校するときの雲が西から動いていたような気がするから。

 この前、雲の観察をしたとき、北から南に雲が動いていたから、天気も北から南に変化していくと思う。

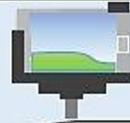
 台風のときは、南から天気が変わるって聞いたから、南から雲が来ると思う。

【計画】

実際に空を目で見るのが一番だよ。



ずっと見ていることはむずかしいから、タブレット端末を使って自動でさつえいするのはどうかな。



西の空から雲が来るはずだから、西の空をさつえいしよう。

自分の予想を確かめるために私は北の空に向けて雲をさつえいするよ。

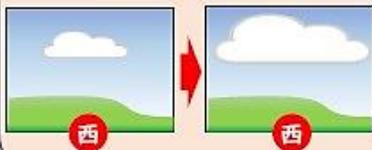
それはいいね。ぼくは南の空に向けてさつえいしよう。



先生

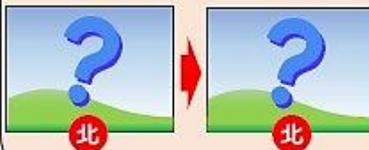
みなさんの予想どおりなら、どのような結果になると思いますか。考えてみましょう。

西の空では、奥から手前に雲が動くと思います。



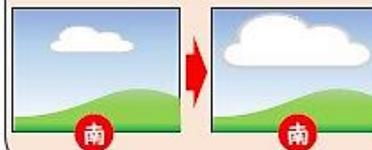
はるとさん

北の空では、と
思います。



あかりさん

南の空では、奥から手前に雲が動くと思います。



おさむさん

ぼくもおさむさんも、雲は奥から手前に動くと思っているから、それに注目すればいいね。

どの方向でも、雲は同じように動いて見えると思うよ。

自分が見たい方向だけをさつえいするだけでいいのかな。

(1) あかりさんの会話中の に入る言葉として最もふさわしいものを、次の中から1つ選びましょう。

- 雲が奥から手前に動く
- 雲が手前から奥に動く
- 雲が右から左に動く
- 雲が左から右に動く



私の予想はまちがってました。
北の空では、左から、右に向かって
雲が動いていきました。

北の空の雲の動きが分かったので、
南の空の雲の動きも予想できそうです。



そうですね。ほかの人の予想どおりだったら、自分の予想がどのような結果
になるかを考えるのはとても大切なことです。

(2) 南の空の雲の動きとして正しいものを、次のア~ウの中から1つ選びましょう。

○ア

雲が奥から手前に動く

○イ

雲が左から右に動く

ウ

雲が右から左に動く

自分の予想どおりの結果の見直しをもつだけでなく、他者の予想どおりの結果についても併せて考えるようにすることが大切です。そうすることで、よりよい解決の方法を発想できるだけでなく、自分の予想と結果の一致、不一致が明確になり、必要に応じて自分の考えを柔軟に見直し、その妥当性の検討を行うことができます。

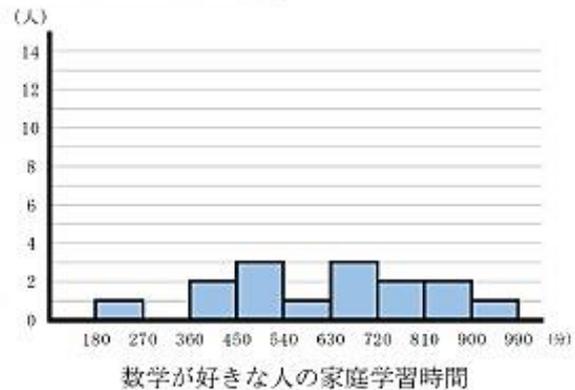
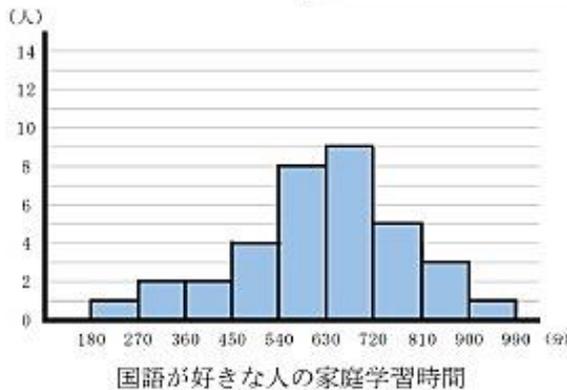
(2) 日常生活の場面等において問題を解決したり、考察したりする観点

中学校数学 大問7 (一部)

出題の趣旨：目的に応じてデータを収集して分析し、その傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができるかどうかをみる。

7 ひろこさんは、これまでの家庭学習を見直して、学年末テストに向けての学習計画を立てようとしています。そこで、学習委員会が1年生50人を国語が好きな人と数学が好きな人に分けて調査した【2学期末テスト前5日間の家庭学習時間調べ】の結果を利用して、学習計画を立てることにしました。

【2学期末テスト前5日間の家庭学習時間調べ】



ひろこさんは、国語が好きな人と数学が好きな人ではどちらの方が、家庭学習時間が長いのか、考えることにしました。そこで、家庭学習時間が720分以上の人数について比べることにしました。



テスト前5日間の家庭学習時間が720分以上の人数は、国語が好きな人は9人、数学が好きな人は5人だね。だから、数学が好きな人よりも国語が好きな人の方が、家庭学習時間が長いといえるね。

ひろこさん

確かに、国語が好きな人の方が、家庭学習時間が720分以上の人数は多いかもしれないけど、本当に家庭学習時間が長いといえるのかな。相対度数をもとに考えると、数学が好きな人の方が家庭学習時間が長いといえるのではないかな。



けいたさん

(1) 家庭学習が720分以上である国語が好きな人と数学が好きな人の相対度数を小数第2位まで、それぞれ求めなさい。

①	国語が好きな人	0. 26
②	数学が好きな人	0. 33

次にひろこさんは、自分のテスト前5日間の家庭学習時間が、1年生の中で長い方なのか調べることにしました。

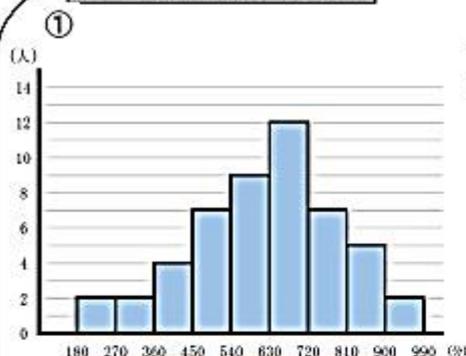


私のテスト前5日間の家庭学習時間は600分だったよ。それに対して、1年生50人のテスト前5日間の家庭学習時間の平均値は595.0分だから、私の家庭学習時間は、平均値を超えているから長い方だといえるのではないかしら。

平均値と比べただけでは、本当にひろこさんの家庭学習時間が長い方とはいえないのではないかな。学習委員会が調べた結果を1つにまとめてみたからそれを使って考えてみるといいよ。



【けいたさんがまとめた資料】



②

階級(分)	度数(人)	相対度数	累積度数(人)	累積相対度数
180 以上 270 未満	2	0.04	2	0.04
270 ~ 360	2	0.04	4	0.08
360 ~ 450	4	0.08	8	0.16
450 ~ 540	7	0.14	15	0.30
540 ~ 630	9	0.18	24	0.48
630 ~ 720	12	0.24	36	0.72
720 ~ 810	7	0.14	43	0.86
810 ~ 900	5	0.10	48	0.96
900 ~ 990	2	0.04	50	1.00
計	50	1.00		

③

最小値	185 分
最大値	937 分
範囲	752 分
平均値	595.0 分
中央値	631.5 分

- (2) ひろこさんは、けいたさんが調べた代表値に最頻値さいひんがないことに気が付き、【けいたさんがまとめた資料】をもとに求めることにしました。最頻値を求めなさい。

675.0 分

- (3) ひろこさんは、【けいたさんがまとめた資料】をもとに考えてみると、自分のテスト前5日間の家庭学習時間は長い方とはいえないと考えました。そのように考えた理由を【けいたさんがまとめた資料】の①~③のうち、どの資料を使って考えたか番号を選び、その理由を入力しなさい。

番号	<input type="radio"/> ① <input type="radio"/> ② <input checked="" type="radio"/> ③
理由	<p>(例) ③を選んだ場合 中央値は 631.5 分である。よってひろこさんのテスト前の家庭学習時間 600 分は長い方とはいえない。</p>

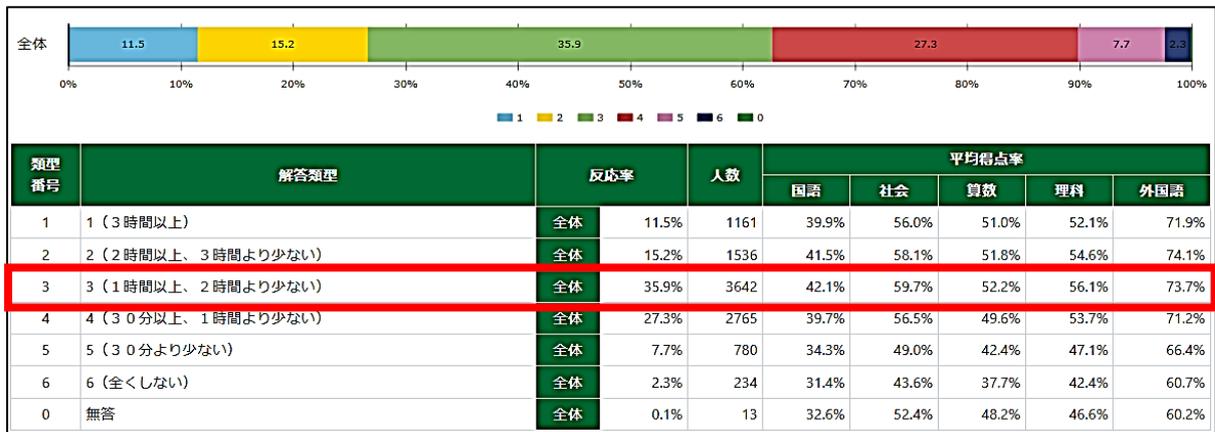
「家庭学習時間について、自分は他の人と比べて長いかどうか」など、児童生徒の日常生活に直結する問題を設定し、ヒストグラムや相対度数などを基にしてデータの分布の傾向を読み取り、自分の家庭学習時間が平均値を超えているから長い方である」と判断することが適切であるかについて批判的に考察することをねらいとしています。

これら以外の問題についても、教員による指導方法の改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上等に役立てるという視点から、学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を具体的に示すメッセージを込めて出題しています。各学校において、学力調査の分析を通して、子供たちの各教科の目標の到達状況を確認し、今後の指導方法の工夫や改善を図っていただきたいと思います。

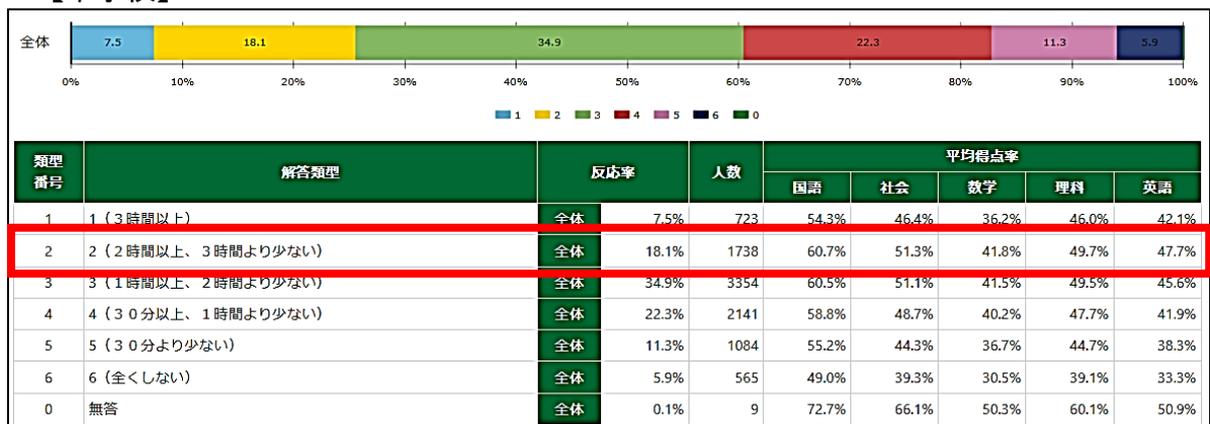
2 教科調査結果と質問紙調査結果のクロス集計から

Q 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます)。

【小学校】

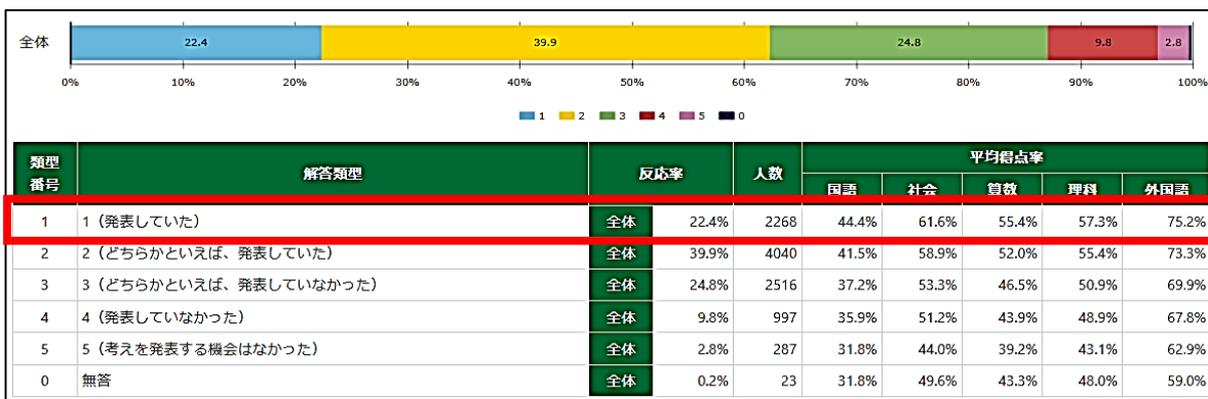


【中学校】

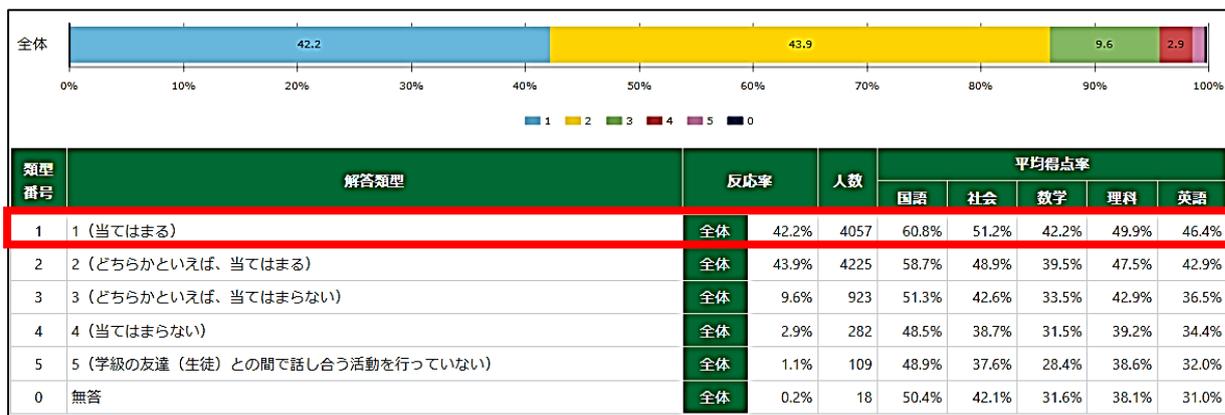


この結果から、ただ長時間、勉強に励むことがよい結果につながるわけではなく、自分に合った学習方法で取り組むことが大切なことが分かります。長時間学習に取り組んでいるにも関わらず、学力の定着に結びついていない児童生徒には、個別に学習方法や内容を確認し、個に応じた方法を助言することでさらに力を伸ばすことが必要です。

Q 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。【小学校】

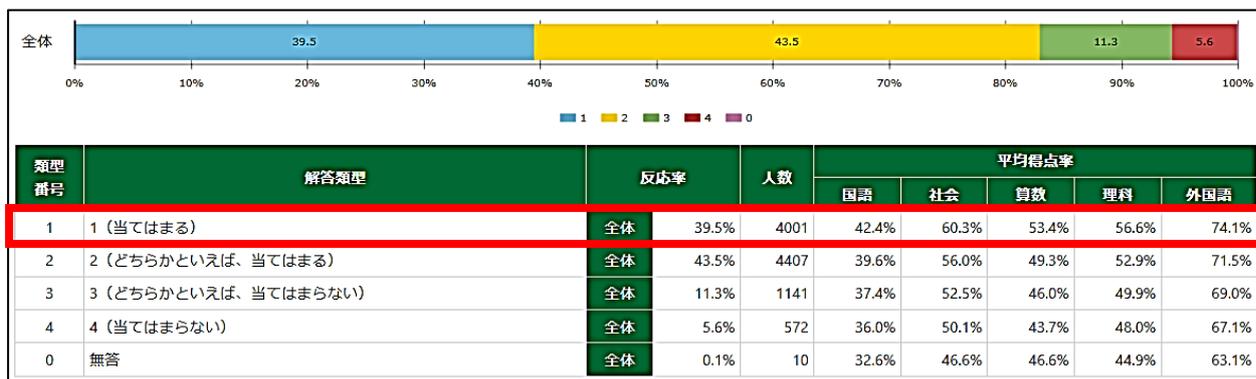


Q 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。【中学校】

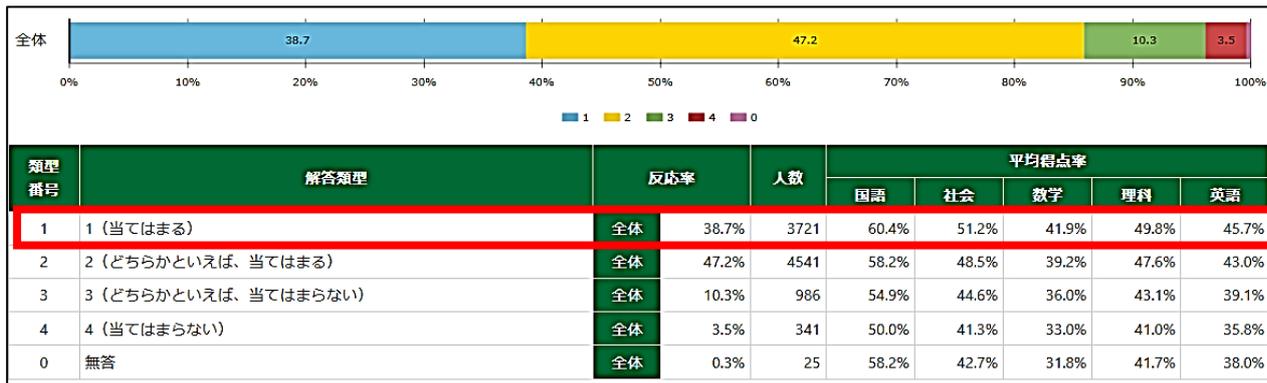


小・中学校ともに、授業の中で「自分の考えを他者に分かりやすく伝えられるように工夫すること」「話し合い活動に熱心に取り組むこと」を意識して行う児童生徒ほど、各教科の平均得点率が高くなる傾向が見られます。各学校において、他者と協働することを通して、自己を表現する力の育成を図りながら、子供たちが主体的・対話的に取り組み、深い学びの実現につなげることができるよう、授業改善に引き続き取り組んでいただきたいと思います。

Q 自分には、よいところがあると思う。【小学校】



Q 先生は、あなたのおよところを認めてくれていると思う。【中学校】



小・中学校ともに、「自分にはよいところがある」「自分のよいところを認めてもらっている」と感じている児童生徒ほど、各教科の平均得点率が高い傾向が見られます。学習環境を整えるとともに、子供たちの自己有用感を高めることも学力向上に向けて重要な視点です。

3 調査で成績上位であった学校の取組

今回の調査において、成果の上がっている学校の具体的な取組を、当該校の学力向上推進計画から紹介します。

松山市立東雲小学校

【学力向上推進計画（前期）】

- ◎ 児童の理解度を確認するために、また分析から課題となった内容の振り返りテストを作成・実施するために、EILSを効果的に活用しています。
- ◎ 話し方や聴き方の指導を継続して行い、学び合い学習を充実させています。

身に付けさせたい資質・能力
 ア 基礎的・基本的な知識及び技能の定着
 イ 自ら読書に親しむ態度
 ウ 自分と他者の考えを比べながら聴き合い、考えを深めたり広げたりする能力

具体的な取組 ※ICT機器、EILSの活用
 ア 月2回以上EILSを活用したテストを実施し、結果を分析する。その上で、実態に即したテストを作成し実施する。
 ア EILSの作問機能を100%の教員が活用し、基礎学力の向上を図る。
 イ 朝読書を週2日にし、読書時間の確保をするとともに、必読書やおすすめの本を提示し、読書の幅を広げる。
 ウ 「つながりタイム」「聴き方名人になろう」について全校で共通理解を図り、発達段階に応じて実践を継続する。

新居浜市立西中学校

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果分析をしっかりと行い、課題となった「必要な情報を正しく読み取り伝える力」を向上させるため、授業や定期テスト問題の改善等の取組を行っています。

身に付けさせたい資質・能力
 ア 学習習慣の確立
 イ データやグラフを読み取り、活用する能力
 ウ 学んだことをもとに、自分の考えを導き出し、他者に自分の考えを分かりやすく伝える能力

具体的な取組 ※ICT機器、EILSの活用
 ア タブレットドリルの活用。週1回以上タブレットドリルの課題を与える。
 EILSの活用。80%以上の職員がEILSを活用し課題を与える。
 イ 各教科において積極的にデータや図・グラフを用いた授業展開を図り、定期テストに出題し、正答率7割以上を目指す。
 ウ ロイロノートを利用し、自分の考えをまとめる授業を展開し、話し合いの充実を図る。学期に1度以上、自分の考えを発表するプレゼンテーションを設ける。

各学校においても、今回の調査結果を分析し、自校の課題を把握した上で、子供たちに身に付けさせたい資質・能力を明確に設定し、学習指導の改善に取り組んでいきましょう。これまでに成果のあった取組を継続するとともに、各校の学びの課題克服に引き続き取り組むことで、全ての子供の可能性を引き出す学びの実現に、共に最善を尽くしていきましょう。